

### Ⅲ 創造性の育成に関する観察授業の概要

#### 目指す幼児・児童・生徒像

新しい見方や考え方に気付き、想像をふくらませて論理的に思考し、問題解決を図ることができる幼児・児童・生徒

##### 【幼児・児童・生徒の姿】

- ・たくさんの考えを出することができる
- ・様々な角度から考えることができる
- ・自分なりの考えを出することができる
- ・実現できるような具体的な考えを出すことができる

#### 観察授業の内容

##### ① 目的

観察授業を通して創造性を評価する因子が高まったと思われる場面から、構成要素にかかわる授業分析を行うことによって、発達段階に応じた創造性育成のための指導の手だてを開発する。

##### ② 観察方法

教員の発問や働きかけに対する幼児・児童の活動や行動の変容について観察授業記録を用いて分析する。

##### ③ 実施時期 平成 20 年 11 月

##### ④ 観察対象 幼稚園 1 園 5 歳児

小学校 2 校 2 年生 5 年生

#### 観察授業の実際

創造性の育成に関する観察記録用紙を作成し、創造性の構成要素と創造性を評価する因子（流暢性・柔軟性・独自性・具体性）の現れ方について観察し授業分析を行った。因子が多く現れている授業展開の場面では、幼児・児童が創造的に活動している場面であるととらえた。

#### 創造性の育成に関する授業観察記録

時刻	学習活動	教師の発問 働きかけ	観察対象の子供の様子	構成要素	創造的思考			創造的態度			
					具体性	独自性	柔軟性	流暢性	探究性	持続性	自発性
9:15	自由遊び		ヨーグルトケースを体につけて変身している友達に「これってどうやってくっつけているの?」と言う。	直観 想像							○
9:25	遊園地ごっこ	「昨日あまり乗り物に乗れなかった人?」「うまく交替してできそう?」「お化け屋敷のアルバイトは?」	友達4人で肩を組んでいる。いすを並べる。「本気ってどいて」と元気に言う。じっと聞いていたが、お化け屋敷のお化け屋敷に立候補する。友達とともに自主的に「スリラーカーを引いて役割分担を任	直観	○	○	○				○
			「Bちゃん、スリラーカーの係」「アルバイトの仕事をやりたい								○
10:25			「お化け屋敷のアルバイトは?」	直観 想像 思考	○	○	○				○
10:26			一人で遊ぶ。	直観 想像	○	○	○				○

子供の活動をうながすような発問を記録できるようにした。

教師の発問や働きかけにより観察対象の子供がどのように行動したか、また、周囲の子供たちがどう関わったか等を記入できるようにした。

創造性を評価するための因子が現れていると思われる活動に○印を付け、幼児・児童の創造性の現れ方について記録できるようにした。○印の数により、創造性の高まりについて分析した。

#### 参考

##### 創造性の阻害要因

創造性を育成するためには、創造性の育成を促進する要因を整えると同時に、阻害する要因を減少させることも必要である。創造性の阻害要因は、発達段階における情緒的な問題や環境とも関連が深い。心理学者・教育学者のトランス（アメリカ）等によると以下のことが言われている。

- 幼児期・想像力が飛躍的に成長する時期。想像力は3歳から4歳半に頂点に達し本能的欲求を抑えるようになる5歳頃には急に低下する現象がみられる。
- 児童期・集団への同調性の高まり、自己主張を抑制する時期。8歳から9歳頃に創造性は低下する現象がある。
- 青年期・知的能力の機能の高まりや体の急激な伸張により精神的なアンバランスが起きる。13歳から14歳頃創造性が低下する現象がみられる。